

2023年度 第2回明石市文化財保護審議会 会議要旨

日 時	2024年3月15日（金）午後2時～午後3時30分
場 所	明石市立文化博物館 大会議室
出席者	明石市文化財保護審議会委員 3名（うち会長1名） 事務局 5名 傍聴者 2名
配布物	・2023年度第2回明石市文化財保護審議会次第 ・明石市指定文化財への指定について（答申案の検討） ・市指定文化財候補旧大久保本陣母屋（西光寺庫裏）の調査結果（報告） ・文化財標柱の設置について（報告） ・大久保町松陰新田における古墳跡の発見について（報告）

1. 開会

2. 議事

(1) 指定文化財候補物件について(答申案の検討)

- ・赤根川金ヶ崎窯跡出土角杯型土器等須恵器一括（42点）
- ・稲爪神社太鼓

事務局より資料に沿って説明

審議の結果、2件とも指定する。

<主な意見>

【赤根川金ヶ崎窯跡出土角杯形土器等須恵器一括42点】

- ・角杯形土器について、全国的に出土例が少ないことはもちろん、破片が全部揃っており、完形になるということも指定するにふさわしい。

【稲爪神社太鼓】

- ・修理の順番や修理した場所が胴体内部の墨書により判明しているということは非常に珍しいものではないか。
- ・今後更に調査を進めていくことで、太鼓の皮の流通範囲、大阪と明石との関連もわかってくるのでは。

(2) 市指定文化財候補 旧大久保本陣母屋（西光寺庫裏）の調査結果について（報告）

事務局より調査結果を報告し、市指定文化財に指定するには至らない旨説明

<主な意見>

- ・度重なる修理により建築当初の佇まいを残すものではないとはいえ、当時の部材を活用した修理を行っており、改修履歴だけをもって指定しないというのはどうなのか。築100年を超える近代和風建築物として、指定文化財が無理でも、国や県の登録文化財への登録は進めていけるのではないか。

(3) 文化財標柱の設置について（報告）

(4) 大久保町松陰新田における古墳跡の発見について（報告）

資料に基づき事務局より報告

3. 閉会